

令和5年度 第1回岡山県立図書館協議会

日 時：令和5年8月29日（火）14：00～16：05

場 所：岡山県立図書館 多目的ホール

出席者 ○委員：小野委員、工藤委員、小林委員、坂井委員、住吉委員、平井委員、山口委員、山本委員

○県立図書館：大西館長、山崎副館長（総務・メディア課長）、笠原総括参事（サービス第一課長）、松本総括参事（図書館振興課長）、神田資料情報課長、隈元総括副参事（自然科学班長）、服部総括主幹（企画・メディア班長）

欠席者 ○秋山委員、湯澤委員

1 開会

2 開会挨拶 県立図書館 大西館長 挨拶

3 資料確認・委員紹介

4 協議・報告

非公開案件の採決

【議長】

議題に入る前に、議題の公開の可否について決定いたします。協議・報告事項（4）は率直な意見交換に支障が生じるおそれがあることから「岡山県立図書館協議会会議公開規程」第2条に基づき、非公開とするよう発議します。このことについて、御意見・御質問はございませんか。

【委員全員】

（特になし）

【議長】

協議・報告事項（4）は非公開とすることに賛成の委員は挙手をお願いします。

【委員全員】

挙手

【議長】

全会一致により本案件は非公開とすることにします。

(1) 岡山県立図書館第4次中期サービス目標について

令和4年度の評価 資料1

資料に基づき、事務局から説明

【委員】

利用者カードのアプリ化について、導入予定はいつか。また、アプリを導入後、利

ユーザーカードは廃止するのか、カードと併用するのかを伺いたい。

【事務局】

導入時期については令和7年度の後半に、現在の図書館システムの更新を予定しており、その時期に向けて検討しているところである。利用者カードとの併用について決まっているわけではないが、引き続き利用者カードを使いたい方もいると思うのでカードとの併用を考えている。

図書館が今日は開館しているか。何時まで開館しているかなどの問合せが多いことから、アプリについては、カードの情報を表示させるだけでなく、開館日や開館時間など基本情報を確認できるようにしたい。

【委員】

図書館を利用したことのない人に来館を促すためにも、プッシュ通知の機能でイベント情報をお知らせすることができればよいと思う。

【委員】

マナーについては図書館でも苦勞があるのではないかと思う。一方、小さな子どもがマナーを守れないので来館をためらう保護者もいるのではないか。マナーアップキャンペーンはどういった人を対象としているのか。また、キャンペーンの効果についてどうか。

【事務局】

今年のマナーアップキャンペーンに際して、岡山工業高校の生徒が作成したポスターなどを掲示している。まず、小さいお子さんを持つ保護者が来館しづらくなるようなキャンペーンではない。

返却日を守っていただくことや、切り抜きや飲み物をこぼすなど資料の汚破損の防止として、資料を大切に扱うよう呼びかけている。

効果についてはかることは非常に困難で有り、残念ながらキャンペーンを実施したから資料の延滞が減少したなどの効果はこれまでのところ現れていない。ただし、県内の図書館とも協力しながら様々な機会で啓発活動を行っている。また、高校生の若い力を借りながら皆さんに図書館を気持ちよく利用していただくよう努力しているところである。

【委員】

里庄町図書館でも県立と連携してマナーアップキャンペーンを実施した。例えば、付箋やマスキングテープを貼り付けたり、本にチェックやマーカーを引いたり悪気無く行っていることが多く、なぜだめなのかを知っていただくために、キャンペーンを実施している。しかしながら、こうした行為が目に見えて減少するような効果が出ていないのが残念なところである。

【委員】

外国の方が増えていると感じている。もっと日本語を知りたい、勉強したいと思う外国の方への取組もしていかなければならないと思うがどうか。

【事務局】

外国語資料は人文科学班が担当しており、多文化サービスとしては、ホームページの一部が外国語（英語、中国語、韓国語、ベトナム語）対応となっており、利用案内

の冊子についても英語、中国語、韓国語のものを作成している。

また、日本で暮らす外国の方向けに、Books on Japan と題して日本の文化・習慣や官公庁の手続きの案内などを紹介した資料を置いている。一番多いのは英語資料となるが、中国語、韓国語、ベトナム語などの資料もある。岡山県が作成している資料については、郷土資料部門で、観光案内の資料も含め収集し、案内できるようにしている。

なお、外国語資料の新着図書のご案内については、国際交流センターなど県内の関係機関にも配布し、外国の方にお知らせしていただくようにしている。

(2) 岡山県立図書館の運営状況について

①県立図書館利用状況等の推移(平成16～令和4年度)

資料2

②全国都道府県立図書館の統計(令和4年度)

資料3

資料に基づき、事務局から説明

【委員】

図書館等整備基金がいずれ枯渇しそうであるが、積み増しの予定などはあるか。

【事務局】

基金への積み増しについて具体的に決まっていないが、予算の確保については安定して資料を購入し続けられるよう、基金以外の財源も含め、様々な観点から予算確保に向けて教育委員会と協議しているところである。

【委員】

これまで、何年に一度というように基金を積み増ししているのか。

【事務局】

この基金が出来て以来、運用をしながら取り崩してきており、その間に積み増しは行っていない。

【委員】

電子書籍サービスの導入時期など見通しはあるのか。また県内の公共図書館で電子書籍サービス導入の動きがあれば教えていただきたい。

【事務局】

長野県立図書館では市町村との共同調達で電子書籍サービスを行っていると聞いており、費用的にも抑えられて参考になるのではないかと考えている。市町村とのすりあわせなど具体的に何かすすめているわけではなく、情報収集を行っているのが現状である。

一方で、コロナ時に中学生向けに教育委員会で電子書籍サービスを提供した実績があり、そのようなサービスを図書館で行うべきだとの御意見もいただいている。現時点で、具体的な導入予定等お話しできるものはないが、今後必要なサービスであるとは考えており、時期を見て予算確保を検討していきたい。

【委員】

来館者数はどのようにカウントしているのか。

【事務局】

これまで、貸出処理をしていない図書を持ったまま通過すると警告音が鳴るゲート

(BDS)を通った人数をカウントしてきた。来館者については図書館の入口を通過した人数をカウントすべきとの御意見をいただいたこともあり、今年度から正面入口、西通用口、地下入口を通過した人数をカウントしている。この入口でのカウントについては2年ほど前から機器を導入していたが、うまくカウントできていない時期があるなどの不具合がみられ、様子を見ていた。昨年1年間稼働させてみて、正常にカウントしていることが確認できたことから、今年度から切り替えたところである。

(3) 県内公共図書館の振興について

市町村立図書館の動向について

資料4

資料に基づき、事務局説明

質疑なし

以下、非公開のため省略

5 閉会